

環境会計参考文献

タイトル	著者	発行者 / 国	発行時期	概要	入手方法	日本語訳
企業経営のための環境会計	日本公認会計士協会	日経 BP 社	2000 年 12 月	アメリカ環境保護庁による報告書(2 種類)の翻訳を掲載するとともに、日本公認会計士協会における環境会計に関する研究プロジェクトの報告書を掲載している。最終的に、内部環境会計と外部環境会計とを統合するような環境会計のフレームワークの構築を目指して提言が行われている。	ISBN4822 280799	
日本公認会計士協会経営研究調査会報告第 5号 環境に配慮した企業経営のための環境コスト情報の利用」	日本公認会計士協会	第一法規出版	1998 年 11 月	環境コストの概念や環境コスト情報の利用方法を総論で説明した上で、5 種類の利用方法(実態把握とコスト削減、環境設備投資の適切な評価、環境に配慮した工程設計の促進、環境マネジメントシステム構築作業のコスト把握管理、適切な製品コストの把握)に関する架空のケースストーリーを示し、具体的に展開させる上でのヒントが提供されている。	第一法規出版より入手可能 (JICPA ジャーナル 1998 年 12 月号掲載)	
日本公認会計士協会経営研究調査会報告第 9号 環境会計に対する基本的考え方～環境会計の概念フレームワーク構築に向けて」	日本公認会計士協会	第一法規出版	2000 年 2 月	環境会計に関する基本的な考え方が整理されている。伝統的な企業会計とは異なる体系として環境会計を位置付け、環境会計を内部環境会計と外部環境会計に分け、両者に共通する主要な認識対象として、環境負荷、環境保全効果、環境保全コストが挙げられている。また、内部環境会計と外部環境会計のそれぞれに固有の論点も検討されている。	第一法規出版より入手可能 (JICPA ジャーナル 2000 年 3 月号掲載)	
環境会計の発展と構築-特別委員会報告-	日本会計研究学会 環境会計の発展と構築 特別委員会		2000 年 9 月	日本会計研究学会の特別委員会による環境会計に関する最終報告書。外部および内部環境会計に関する国際動向、環境報告書における環境会計情報の実態調査、および ISO14001 と 14031 の視点からの環境会計論を取り上げるとともに、マクロ環境会計に関する動向も取り上げられている。新たな会計領域としての環境会計に関する包括的な研究報告書。		
平成 11 年度環境ビジネス発展促進等調査研究(環境会計)報告書	社団法人 産業環境 管理協会	社団法人 産 業環境管理協 会	2000 年 3 月	企業が意思決定に使えるような企業や組織単位の内部環境会計を検討する3 年調査のうち1 年目の成果報告書。欧米の実情の把握、技法の洗い出し等が行われ、企業の実例等も掲載されている。	産環協調査 企画部あて 申込み。 http://www.jemai.or.jp/publications/books/6-10.html	

タイトル	著者	発行者 / 国	発行 時期	概要	入手方法	日本語訳
環境コストおよび環境負債のための会計と財務報告に関する指針 (ISAR's "Guidance Manual Accounting and Financial Reporting for Environmental Costs and Liabilities")	国連経済社会理事会 会計・報告の国際基準に関する専門家による政府間ワーキンググループ (Intergovernmental Working Group of Experts on International standards of Accounting and Reporting: ISAR)	国連貿易開発会議 (UNCTAD)	1999年 6月～ 2001年 2月	ISAR による一連の環境会計に関する調査の成果の一つ。環境会計にまつわる諸問題に関する情報と指針を提供し、各国の会計基準設定主体の会計基準等に関する最良の実務を示すことを目的としている。環境コストや環境負債の会計処理のみならず、環境報告、環境パフォーマンス指標および環境リスクの評価についても包括的な考察が加えられている (但し、環境リスクに関しては目下作業中のため指針は提供されていない)。	http://www.unctad.org/en/subsites/dite/3_edev/3_isarm.htm	
環境管理会計の推進における政府の役割についての専門家作業部会報告 (Report of the Expert Working Group on the Role of Government in Promoting Environmental Managerial Accounting)	国連持続可能開発部 (UNSD)	国際連合 (UN)	2000年 2月	UNSD が 1999 年 8 月に主催した「環境管理会計の促進における政府の役割」に関する専門家会合の報告書。参加各国(含む日本)の現状についての情報もまとめられている。	http://www.un.org/esa/sustdev/estemausa.htm	
国際的会計・報告の論点 (International Accounting & Reporting Issues-the 1998 Review)	国連貿易開発会議 (UNCTAD)	国際連合 (UN)	1999年 5月	1980年代後半から環境会計に関する調査研究を行ってきた UNCTAD がまとめたレポートの最新版。第 1 章では環境負債・コストの会計処理、財務報告書での開示に関する UNCTAD の見解がまとめられている。第 2 章は、世界の会計基準設定団体等に対する調査に基づき、環境コストや環境負債を中心に、既存の枠組みにおける概念整理、会計処理、開示の状況がまとめられている。第 3 章では、既存の財務報告の枠組みを超えて、環境パフォーマンスの測定や開示について検討されている。	ISBN 921112444 1	
組織における環境マネジメント:管理会計の役割 (Environmental Management in Organizations: The Role of Management Accounting)	国際会計士連盟 (IFAC)財務及び経営管理会計委員会 (FMAC)	国際会計士連盟 (IFAC)	1998年 3月	会計士団体の国際連盟である IFAC の中で財務・管理会計に関する情報提供を行う FMAC が国際管理会計研究の第 6 号としてまとめた報告書。第 1 部「企業の環境マネジメントへの道」では、環境マネジメント及び環境会計に取り組む各国の機関の活動がレビューされている。第 2 部「企業の環境マネジメントにおける会計士の役割」では、環境管理会計活動の中核を構成する主要機能として、環境コスト会計、環境負債評価、環境財務マネジメント、情報システム開発を挙げ、それぞれに関して、さまざまな機関の調査研究を紹介しつつ解説されている。	http://www.ifac.org/StandardsAndGuidance/FMAC/IMAS6/IMAS6.htm 1	

タイトル	著者	発行者 / 国	発行 時期	概要	入手方法	日本語訳
環境マネジメント、環境会計および財務的パフォーマンス (Environmental Management, Environmental Accounting and Financial Performance)	J. S. Toms	管理会計士勅許協会 (The Chartered Institute of Management Accounting: CIMA)	2000年	環境に配慮した経営を追求する企業とそうでない企業との違いに関して調査研究が行われている。本調査では、685社の年次報告書と959名の投資専門家に対して実施したアンケート調査による結果が反映されている。本報告では環境方針、環境会計および株式市場に焦点が当てられているので、財務報告と企業の経営戦略との関係が取り扱われている。	ISBN1859713483	
経営管理手法としての環境会計入門：基本概念及び用語 (Introduction to Environmental Accounting as a Business Tool: Key Concepts and Terms)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	1995年 6月	環境会計を理解しようと考えている事業経営者及びその他の専門家などに対して、環境会計に関する必要な概念や用語の説明などが提供されている。	http://www.epa.gov/opptintr/acctg/	日本公認会計士協会が仮訳作成
無駄なくグリーンなサプライチェーン：コスト削減と環境パフォーマンス改善に向けた資材管理者およびサプライチェーン管理者のためのガイド (The Lean and Green Supply Chain: A Practical Guide for Materials Managers and Supply Chain Managers to Reduce Costs and Improve Environmental Performance)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	2000年 1月	資材管理の効率化を目指す有効な手法であるサプライチェーンマネジメントにおいて、環境配慮に焦点をあてる必要性が説かれている。サプライチェーン管理者が、環境コストを的確に捕捉することにより適切な意思決定が可能になると考えられている。そして、経済面と環境面のパフォーマンスを同時に改善する機会を明確にするとともに、成功した事例が紹介されている。	http://www.epa.gov/oppt/acctg/Lean.pdf	日本公認会計士協会編『企業経営のための環境会計』日経BP社、2000年、pp.64-105に収録。
AT&T社での環境会計 (Green Accounting at AT&T)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	1995年 5月	このケーススタディは、AT&T社での環境会計が紹介されている。AT&T社が環境会計をなぜ取り扱うことにしたのか、いかに計画を進め、どのように情報を収集したのか、将来的にどのような環境会計の活動を考えているのか等が紹介されている。	http://www.epa.gov/opptintr/acctg/	
オンタリオハイドロ社での意思決定のためのフルコスト会計：ケーススタディ (Full Cost Accounting for Decision Making at Ontario Hydro: A Case Study)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	1996年 5月	オンタリオハイドロ社での環境コストを意思決定と計画に組み込まれるためのプロセスが紹介されており、環境への関心を意思決定と計画に組み入れることに興味を持つ広い範囲の会社にとって有用なケーススタディとなっている。	http://www.epa.gov/opptintr/acctg/	日本公認会計士協会編『企業経営のための環境会計』日経BP社、2000年、pp.24-62に収録。

タイトル	著者	発行者 / 国	発行 時期	概要	入手方法	日本語訳
電気メッキ業に環境会計を適用する：深遠な分析 (Applying Environmental Accounting to Electroplating Operations: An In-Depth Analysis)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	1997年 5月	電気メッキ業界への環境会計の導入に関する調査報告書。環境コストの種類と大きさ、その把握状況の改善、この業界に環境会計をより広く導入させる可能性について述べられている。	http://www.epa.gov/opptintr/acctg/	
化学・石油会社の環境コスト会計：ベンチマーキング調査 (Environmental Cost Accounting for Chemical and Oil Companies: A Benchmarking Study)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	1997年 6月	環境会計システムを開発中の米国・メキシコの5社の調査結果。環境会計システムの形態と機能、環境コスト情報の利用方法などが論じられている。	http://www.epa.gov/opptintr/acctg/	
汚染予防における利益を探す：環境的機会の企業評価の事例 (Searching for the Profit in Pollution Prevention: Case Studies in the Corporate Evaluation of Environmental Opportunities)	James Boyd, Resources for the Future	アメリカ環境保護庁 (EPA)	1998年 4月	大手化学3社 (ダウ、モンサント、デュポン) の汚染予防投資の意思決定プロセスが事例としてまとめられ、汚染予防を促進するための環境政策の変革と研究の推進が提言されている。	http://www.epa.gov/opptintr/acctg/	
環境コスト情報を用いたサプライチェーン管理の強化：(Enhancing Supply Chain Performance with Environmental Cost/Information: Examples from Commonwealth Edison, Anderson Corporation, and Ashland Chemical)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	2000年 4月	環境改善がもたらす財務面への影響を判断することによりサプライチェーンマネジメントの改善方法が、事例を用いて例証されている。事例では3つの会社に取り上げられているが、それぞれ異なるアプローチが採用されている。いずれのアプローチも他企業の実務に役立つことが強調されている。	http://www.epa.gov/oppt/acctg/eacasestudies.pdf	
健全な病院：環境会計を通じた環境改善 (Healthy Hospitals: Environmental Improvements Through Environmental Accounting)	テラス研究所 (アメリカ環境保護庁 (EPA) の委託研究)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	2000年 7月	病院を、多くの資源を消費し多くの廃棄物を生み出す主体として捉え、特に水銀等の有毒廃棄物の管理が着目されている。この研究では、病院における環境会計実務を検証することと、廃棄物削減機会の識別への環境会計の寄与を探求することが目的とされている。医療業界特有のコスト分類等を検討し、勧告が提言されている。さらに、付録として様々な医療機関での実例が紹介されている。	http://www.epa.gov/oppt/acctg/hospitalreport.pdf	
グリーンな配当？ 企業の環境パフォーマンスと財務パフォーマンスとの関係 (Green Dividends? The Relationship Between Firm's Environmental Performance and Financial Performance)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	アメリカ環境保護庁 (EPA)	2000年 5月	企業の環境パフォーマンスと財務パフォーマンスの良好な関係を研究することが目的とされている。企業の環境戦略が財務パフォーマンスを向上させる要因となることが事例によって明らかにされ、その際に障害となるさまざまな要因が検討されている。そして、当初の目的にかなうための11の勧告が提言されている。	http://www.epa.gov/ocempage/nacept/green_dividends.pdf	

タイトル	著者	発行者 / 国	発行時期	概要	入手方法	日本語訳
グリーン元帳 企業の環境会計の事例研究 (Green Ledgers: Case Studies in Corporate Environmental Accounting)	Daryl Ditz, Janet Ranganathan, Daryl Banks	World Resources Institute - アメリカ	1995年5月	環境コストが事業の意思決定にどのような影響を与えるかということについて、いくつか事例を示しながら、環境会計の実務に関する事項が示されている。また、環境コスト情報の利用について6つのケーススタディが記載されている。	ISBN 1-56973-032-6	
環境原価計算 (Handbuch Umweltkostenrechnung)	ドイツ連邦環境省・環境庁	ドイツ連邦環境省・環境庁	1996年	ドイツ連邦環境省・環境庁が、ドイツ産業界にコスト面の考慮から環境保護を体系的に導入するよう促すべく、まとめたハンドブック。原材料・エネルギーのフローを把握した上で、環境コストを他のコストと区分し、費目別原価計算、部門別原価計算、製品別原価計算へ展開する方法が説明されている。環境保護によりコストダウンを達成した7社の事例も紹介されている。	ISBN4-8207-1488-0	宮崎修行監訳、日本能率協会環境会計研究会訳『環境原価計算』日本能率協会マネジメントセンター、2000年
フローコスト会計: 物質の実際フローに基づく会計手法によるコスト削減と環境負荷の低減をめざして (Flow Cost Accounting: Cutting Costs and Relieving Stress on the Environment by Means of an Accounting Approach Based on the Actual Flow of Materials)	M. Strobel, C. Redmann	経営・環境研究所 (Institut für Management)	2000年10月	ドイツ語圏で普及しているフローコスト会計に関する英文による紹介論文。環境負荷の低減と収益性との両立を目指す手法として、フローコスト会計が提唱されている。フローコスト会計の基本的な考え方と具体的内容およびフローコスト会計の既存システムへの導入について考察されている。	神戸大学大学院経営学研究科デイスカッションペーパー』は、神戸大学大学院経営学研究科第二研究助成室 TEL: 078-803-6952 で入手可能。	中島道靖、水口剛、國部克彦、大西靖訳『IMUマテリアル・フロー・コスト会計』神戸大学大学院経営学研究科デイスカッションペーパー-2001・2』
環境効率指標の標準化 (Standardized Eco-Efficiency Indicators)	Kasper Muller and Andreas Sturm	Ellipson, Ltd.	2000年	最も有効な環境効率指標の識別、選択及び構築に関する手引きの作成が目的とされている。環境効率指標の概念が説明されるとともに、それに必要な環境パフォーマンスと財務情報について考察されている。さらに、環境効率指標の標準化に向けた環境会計上の問題点が検討されている。	http://www.ellipson.com/ftp/pub/studies_reports/EEI.pdf	中央青山監査法人名古屋事務所により仮訳が作成(2000年11月)
環境マネジメントの手法としての	Matteo Bartolomeo, Martin Bennet, Jan	Kluwer Academic	1999年	欧州委員会環境・風土プログラムによる研究プロジェクトの最終報	ISBN0792355628	阿呆栄司、

タイトル	著者	発行者 / 国	発行時期	概要	入手方法	日本語訳
環境管理会計 (Eco-Management Accounting: ECOMAC)	Jaap Bouma, Peter Heydkanp, Peter James, Foppe de Walle and Teun Wolters	Publishers		告書。ECOMAC のフレームワークを明らかにするための考察が加えられた後、欧州の 84 社のアンケート調査結果の分析と15 社のケーススタディが収録されている。環境マネジメントシステムと環境管理会計、および管理会計と環境管理会計との関係に考察の重点が置かれている。		矢澤秀雄、青木章 通訳 『環境管理会計』生産性出版、2000 年。
環境問題の視点からみた国際会計基準の検討 (Review of International Accounting Standards for Environmental)	欧州会計士連盟 (FEE)	欧州会計士連盟 (FEE)	1999 年 5 月	FEE(欧州会計士連盟)が環境問題に関して、既存の国際会計基準 (IAS)をどう改善すべきかという点などを検討した結果がまとめられている。検討項目は、環境コスト・負債の開示、会計処理などである。	FEE に注文 FAX:32(2) 231-1112 E-mail:Secretariat@FEE.be	
企業による環境報告についての研究 (Study on environmental reporting by companies)	Kathryn Jones, University of Sunderland	欧州委員会 (EC) DG11	1999 年 10 月	欧州委員会の環境担当部門 DG11 の依頼によりサンダーランド大学の研究者がまとめた研究報告書。財務報告書や環境報告書に関する世界各国の専門機関 18 団体、利用者 11 団体及び報告書作成企業 88 社の調査協力を得、財務報告書における環境情報の開示状況や可能性が検討されている。環境情報が他の戦略的問題と同程度に開示されるべき等の提言がなされている。	http://www.europa.eu.int/comm/environment/enveco/envrep.pdf	
財務報告書上での環境支出の開示についての調査レポート (Environmental Expenditure in Corporate Reports and Accounts)	イギリス公認会計士勅許協会 (ACCA)	イギリス公認会計士勅許協会 (ACCA)	1999 年 8 月	財務報告書及び環境報告書における環境会計情報の開示についての調査レポート。報告の対象とするステークホルダー等の論点について考察されている。日本の環境会計ガイドライン案 (中間取りまとめ) についても言及されている。	http://www.acca.co.uk/	
グリーンボトムライン：環境管理会計：現在の実務と将来の傾向 (The Green Bottom Line, Environmental Managerial Accounting, Current Practice and Future Trends)	Martin Bennett and Peter James 編著	Greenleaf Publishing - イギリス	1998 年 7 月	世界各国の著者による環境会計の理論的検討・実務的情報の集大成。概念の検討に焦点をあてた第 1 部では、イギリス、アメリカ、スイス、フランス、カナダ、イタリア、オランダ、オーストラリアの著者が各国の状況も交えつつ論じられている。第 2 部では、特定業種に環境会計を導入したプロジェクトなどが紹介され、第 3 部では、個々の会社の事例が紹介されている。これらの事例にはアメリカ環境保護庁の支援を受けたものや欧州の環境会計プロジェクト ECOMAC の一環として行われたものも含まれている。	ISBN 1-874719-07-1	國部克彦 監修、海野みずえ訳、(社)産業環境管理協会発行 録の利益 環境会計の展開 2000 年 12 月

タイトル	著者	発行者 / 国	発行時期	概要	入手方法	日本語訳
現代の環境会計 (Contemporary Environmental Accounting)	Schaltegger, S. and Burritt, R.	Greenleaf Publishing - イギリス	2000年10月	環境会計に関する概念について、議論され説明されている。また、その概念に関する重要な論点について指摘し、欧米や豪州における具体的な適用例が提供されている。	http://www.greenleaf-publishing.com/catalogue/cea.htm	
環境コストと負債: 会計及び財務報告の問題 (Environmental Costs and Liabilities: Accounting and Financial Reporting issues)	カナダ勅許会計士協会 (CICA)	カナダ勅許会計士協会 (CICA)	1993年	カナダの会計基準審議会が、環境コストと環境会計の重要性を認識、検討するために作成した専門委員会の研究報告書の翻訳。環境コストの定義、環境への配慮から生じる資産の減損などについて解説されている。	CICA が販売 www.cica.ca	平松一夫・谷口智香訳 (東京経済情報出版 絶版)
環境の視点からのフルコスト・アカウンティング (Full Cost Accounting From an Environmental Perspective)	カナダ勅許会計士協会 (CICA)	カナダ勅許会計士協会 (CICA)	1997年	内部コストだけでなく外部コストも扱うフルコスト・アカウンティングの概念が整理され、オンタリオ・ハイドロ社の事例が紹介されている。内部コストとしての環境コストの定義や種類が説明されるとともに、外部コストの開示については数社の事例やそのニーズを示す各国機関の動きが紹介されている。	ISBN 0-88800-486-9	
環境効率の測定: 企業のパフォーマンス報告のガイド (Measuring Eco-Efficiency: A Guide to Reporting Company Performance)	Hendrik Verfaillte and Robin Bidwell	世界環境経済人協議会 (WBCSD)	2000年6月	環境効率性というコンセプトを初めて提唱した WBCSD による報告書。経済的および環境的持続可能性に向けた企業による環境効率性測定に有用な枠組みを設定することが目的とされている。環境効率性の枠組みを提示するにあたり、一連の定義、原則および指標が検討されている。		
環境効率: 少ない影響でより多くの価値を創出する (Eco-Efficiency: Creating More Value with Less Impact)	世界環境経済人協議会 (WBCSD)	世界環境経済人協議会 (WBCSD)	2000年11月	環境効率性のコンセプトに関する包括的な報告書。環境効率性の考え方の説明から始まり、事例を用いて環境効率性の測定方法とその向上に向けた施策が検討されている。政府関係者、市民、教育者、投資家および経営者が、環境効率性の将来に向けて担うべき役割が提言されている。	http://www.wbcSD.ch/printpdf/EEcreating%20more%20value%20with%20less%20impact.pdf	

追記 既に「参考資料」(環境庁環境会計ガイドブック付録)に書かれている以下の3つの文書は、日本公認会計士協会編『企業経営のための環境会計』日経 BP 社、2000年に収録されている。

日本公認会計士協会経営研究調査会報告第5号「環境に配慮した企業経営のための環境コスト情報の利用」(pp. 108-155 に収録)

日本公認会計士協会経営研究調査会報告第9号「環境会計に対する基本的考え方～環境会計の概念フレームワーク構築に向けて」(pp. 158-173 に収録)

EPA 著「経営管理手法としての環境会計入門: 基本概念および用語」の翻訳 (pp. 24-62 に収録)